



江戸川で見られる生き物を紹介します。

えどがわエコセンター
自然共生社会づくり委員会
委員長 中嶋 美南子

こんなふうに
調査をしていますよ！



実際に江戸川敷を歩行しながら調査します。



双眼鏡やカウンターを使用して調査します。



投網で魚を採取しています。



干潟の生物を採取しています。

植物

江戸川の江戸川敷では、たくさんの植物を見ることができ、その中には上流から種が流れ着いて、成長をはじめたものもあるんだ。そんな江戸川敷では生態系ができています。

27年度 水辺環境調査結果 67科 339種

アカツメクサ

ヨーロッパから牧草として輸入された多年草です。葉のわきに多数の花が密集して頭状になります。花は5～10月。



イスタデ

1年草で道端や野原で見られます。アカマンマと呼ばれ、したしまれています。花は6～10月。



クサフジ

日当たりのよい草地や山麓の林に生えている多年草です。花と全体がフジに似ていることからクサフジと言います。花は5～9月。



オニグルミ

川沿いなどの湿った場所に多く見られ、実の殻は非常にかたく割るのが大変です。実はリスやネズミの食糧になります。花は5～6月。

カントウタンポポ

近年ではあまり見られなくなったタンポポです。セイヨウタンポポとは違い、つぼみの外片はそりかえっていません。花は3～5月。



クコ

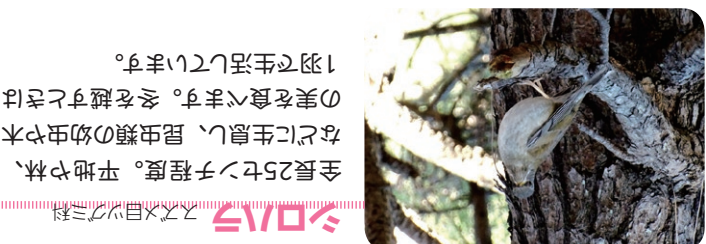
野原や海岸、河原で見ることが出来ます。赤い実がなり、若葉は山菜、実は薬用として用いられています。花は7～11月。



セイヨウタンポポ

ヨーロッパ原産の外来種です。野原などで見られます。カントウタンポポとは違い、つぼみの外片がそりかえっています。花は3～5月。

江戸川生き物図鑑 2016年10月発行
編集・発行 特定非営利活動法人えどがわエコセンター
〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1
タワーホール船堀3階
電話：03-5659-1651
監修 江戸川区環境部



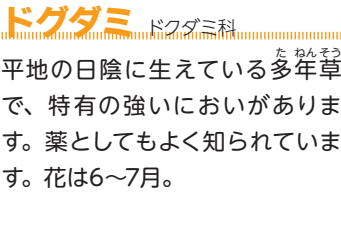
全長25センチ程度。平地や林、などに生息し、昆虫類の幼虫や木の実を食べます。冬を越すときは1羽で生活しています。

豊かな水環境によって魚や水生生物、植物も多く、それをエサとして様々な野鳥が集まってくるよ。最近では、江戸川敷のヨシ原が減り、数が少なくなっている野鳥もいるんだ。



チガヤ

日当たりのよい乾いた草地で見ることが出来る多年草で、若い花穂と白い根にはかすかに甘みがあります。花は4～6月。



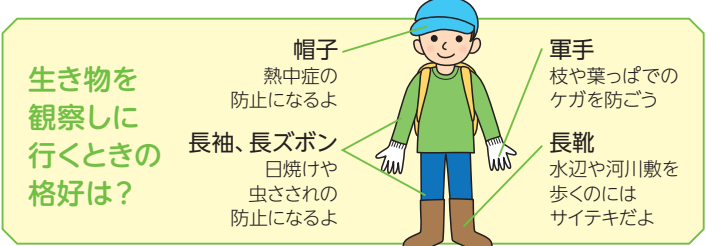
ドクダミ

平地の日陰に生えている多年草で、特有の強いにおいがあります。薬としてもよく知られています。花は6～7月。



ホトケノサ

東アジア、ヨーロッパ、北アフリカに多く分布しており、畑や道ばたで見ることができます。花は3～6月。



江戸川にもアユがいるんだ!!

江戸川水こう門で取り組む

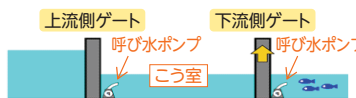
アユの遡上環境改善

江戸川水こう門では、3～5月にアユの遡上を助ける取り組みをしています。海から上ってきたアユの稚魚を、呼び水ポンプによってこう門前に誘導し、こう門を操作して上流に移動させています。

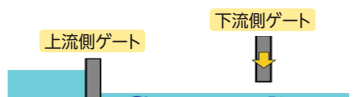


こう門特別操作イメージ

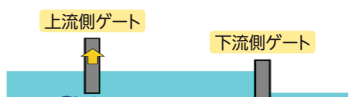
① 下流側ゲートにアユを誘導します。



② アユをこう室に案内します。



③ 上流側ゲートを開き、アユを上流へ案内します。



出典・参考：江戸川河川事務所HP

底生動物

底生動物とは、川底に生息する貝やエビ、カニ、水生昆虫などのことを言うんだ。江戸川には、海水と淡水が混じり合う汽水や干潟があって多くの底生動物が生息しているよ。

27年度 水辺環境調査結果 15目 27科 35種

コウロエンカワヒバリガイ

原産はニュージーランドやオーストラリアです。殻長3センチ程度の2枚貝です。成貝では赤みがかった黒褐色になります。



テナガエビ

体長9センチ程度まで成長し、はさみのついた前の二本足が非常に長く特徴的です。流れが緩やかな砂や泥のある場所に住んでいます。



魚

江戸川では、淡水魚、汽水魚、回遊魚などを見ることができるんだ。江戸川水門を境に上流では淡水に生息する生き物がたくさんいて、大きな魚もたくさん生息しているよ。

27年度 水辺環境調査結果 5目 9科 23種

コノシロ

全長17センチ程度。内湾や河口域に生息しています。出世魚であり、寿司のネタではコハダとして有名です。



ギンブナ

全長15～30センチ程度。湖沼や流れの緩やかな河川、水草のある岸辺などに生息しています。雑食性でなんでも食べます。

ゲンゴロウブナ

全長20～40センチ程度。釣りの対象魚でヘラブナとも呼ばれていて、主に植物プランクトンを食べます。



ハス

全長20～30センチ程度。湖の岸近くや内湖、大きな河川の下流域に生息し、日本のコイ科魚類では数少ない魚食魚です。

オオクチバス

全長30～60センチ程度。河川の下流域や湖沼、ため池などに生息し、獐猛な肉食性で主に魚類を食べます。



カダヤシ

全長6センチ程度。体形はメダカに似ており水田や用水路、湖沼に生息しています。また、汽水域にも生息し、水質汚濁に強いです。

アシシロハゼ

全長は10センチ程度。内湾や河口域の水深1メートルほどの砂泥底に生息し、底生動物や藻類を食べる雑食性です。



チチ

全長5～10センチ程度。内湾や河川の河口域に生息し、汚底や砂泥底にある石やカキ殻の間などで見ることができます。

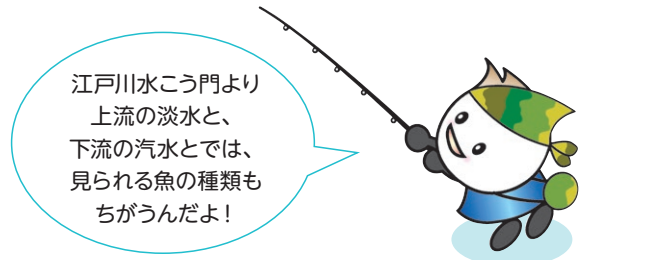
ビリンゴ

全長は4～7センチ程度。河口域から下流域、汽水湖にも生息し、主に底生動物を食べます。また、干潟でもよく見ることができます。



ニホンウナギ

全長は50～100センチ程度。沿岸部から河川上流域に幅広く生息し、甲殻類、魚類などを食べます。



江戸川周辺には、たくさん見所があるんだよ!!



水辺環境調査
植物・鳥類 調査エリア
魚類・底生動物 調査ポイント



ユビナガスジエビ

体長4センチ程度。河口付近や塩分濃度の濃い汽水域でも見られます。一般に透明な体のものが多いようです。

クロベンケイガニ

河口付近の湿った林や草地の中で見ることができます。雨の日は陸で活動することがあります。足に黒くかたい毛が生えています。



ナゴヤサナエ

ナゴヤサナエの幼虫です。大きな河川の下流域から河口、汽水域にも生息しています。成虫のトンボになると5センチ程度まで成長します。

